

大阪交響楽団のメンバーと
お届けする気軽に楽しめるひととき

音楽の ある ひととき in HIGASHI



公演時間
60分

Vol.7

和洋の歴史を越える、 音楽の融合

2026

2/15日 14:00開演 13:30開場
堺市立東文化会館 2F ギャラリー

【入場料】 自由席 1,200円 (前売・当日共)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売開始日
2025. 11/22[土]

【定員100名】

【曲目】 トロンボーンとピアノによる演奏
プッチーニ:「誰も寝てはならぬ」
三味線による演奏「じょんがら節」ほか



同時開催 福助人形の展示

展示の観賞は無料

【展示日時】

2026年 2月15日(日) 15時～17時 / 16日(月) 10時～17時 / 17日(火) 10時～16時

Vol.8

なごわ 低音の和み、和の調べ

2026

3/1日 開演 ①11:30 ②14:30
開場は各回開演時間の30分前
堺市立東文化会館 2F 多目的室

【入場料】 自由席 (お菓子・お茶付き) 1,500円 (前売・当日共)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売開始日
2026. 1/10[土]

【各回定員40名】

【曲目】 西村朗、黛敏郎、瀧廉太郎の独奏曲
レオポルド・ホフマン: 弦楽三重奏曲



チケット
のお求め

●堺市立東文化会館 Tel 072-230-0134 (窓口 9時～20時/水曜休館) ●大阪交響楽団 Tel 072-226-5522 (平日10時～17時)

●オンラインチケット (要事前登録・コンビニ支払いのみ) <https://p-ticket.jp/sakai-higashibunka>

●ローソンチケット Lコード Vol.7 54389 / Vol.8 54425

※前売券が完売した場合は、当日券はございません。 ※オンラインチケット、ローソンでのご購入の場合は、各種手数料が必要です。

主催

指定管理者 堺市立東文化会館コミュニケーショングループ

制作協力

公益社団法人 大阪交響楽団



問い合わせ

堺市立東文化会館

TEL 072-230-0134 <https://www.sakai-higashibunka.jp/>
〒599-8123 堺市東区北野田1084-136



Vol.7

和洋の歴史を越える、
音楽の融合

Masateru Yamaki

矢巻 正輝

トロンボーン

大阪交響楽団トロンボーン奏者。大阪音楽大学、相愛大学、早稲田大阪高校吹奏楽コース各講師。オーケストラでの活動以外に全国各地でのリサイタルやソロ出演、吹奏楽の演奏会へのゲスト出演や作曲家との新作も多く、八木澤教司作曲トロンボーン協奏曲

世界初演、「けやきの杜で」ウィーン楽友協会ホールヨーロッパ初演、能楽師や三味線とのコラボレーション等多岐に亘る。2025年は大阪関西万博にてソロ、室内楽、オーケストラなどでも多数出演している。ソロCD「Resonance」、「With Strings」発表。



Nozomi Umeda

梅田 望実

ピアノ

大阪音楽大学卒業。大学卒業後、それまで学んで来たクラシックとは違う魅力をジャズに感じ、ジャズピアノを学ぶ。現在は関西のライブハウスや様々な音楽シーンで活躍中。また民族楽器とのコラボレーションやクラシック演奏会への客演多数。近年では

大阪・関西万博やクルーズ客船での演奏のほか、文化講座などへの演奏出演も多く、読売新聞紙面でも大きく取り上げられる。教育分野に於いては伊丹市、泉佐野市、堺市などの小中学校に訪問するアウトリーチ授業も積極的に行っている。



Shinichiro Ishimura

石村 真一朗

三味線

家業である創業160年以上の老舗和楽器店「つるや楽器」で働き始め、学生時代の音楽の経験を活かし津軽三味線を始める。私立高校では古典音楽特別講師に就任するなどし、多くの生徒に指導にあたる。また企業や自治体から依頼を受け、関西各地のイベ

ントにて演奏活動や和楽器に関する講演会を行っている。近年ではフランスのパリコレのランウェイで演奏や、2025年開催の大阪・関西万博の参加誘致を目的とする国際会議IPMで演奏するなど、日本の方だけではなく海外の方に向けても和楽器の魅力を発信する活動を行っている。



Taku Uchidoi

打土井 拓

三味線

元ギターの講師という異色の経歴を持つ。YAMAHA音楽教室やよみうり文化センターの津軽三味線講師を務め、関西各地に多くの生徒を持つ。さらに奈良県の高校の外部クラブコーチに就任するなど若い世代の育成にも力を入れている。また、現在プロの

演歌歌手との活動や、イベント依頼を受け演奏活動を行っている。上記と同じく今回の大阪・関西万博開催に国際会議IPMでは各国代表の前でパフォーマンスを披露した。

Vol.8

なごわ
低音の和み、和の調べ

Masahide Sakaguchi

坂口 雅秀

ヴィオラ

9歳よりヴァイオリンを始める。大阪教育大学教養学部芸術専攻音楽コース卒業。1991年よりシンフォニア・コレギウムOSAKA(元アンサンブル・シュッツ)にヴァイオリン奏者として入団する。マンスリーコンサートなどの

室内楽に傾倒する中で本格的にヴィオラに転向する。ヴァイオリンを青砥華、稲垣琢磨、梅沢和人の各氏に師事。ヴィオラを竹内晴夫氏に、室内楽を元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者ライナー・モーク氏に師事する。2002年より大阪交響楽団ヴィオラ奏者。



Yu Kanai

金井 悠

チェロ

福井市出身。3歳より才能教育にてチェロを始める。幼少から室内楽や弦楽アンサンブルに親しむ。福井県立藤島高等学校を経て、2013年立命館大学に入学。大学でのオーケストラ活動と現在の師との出会いから

チェリストを目指し、在学中から演奏活動を始め研鑽を積む。2018年大阪交響楽団に入団。現在はオーケストラ奏者、室内楽奏者として関西を中心に活動している。これまで、参納順三、池田沙和子、荒井結、近藤浩志の各氏に師事。



Yuuko Watando

渡戸 由布子

コントラバス

幼少の頃よりピアノをはじめ、東京藝術大学コントラバス科を卒業。現在大阪交響楽団副首席をつとめる。

ソロの分野では、東京国際芸術協会新人オーディション合格、アジアクラシックコンサート優秀賞。様々な編成の室内楽や、ソロ

作品のコンサートも多く手掛けており、2026年2月13日に音楽の友ホールでラスカのコントラバスコンツェルトの日本初演をおこなう。国際楽器社、ワタナベ楽器店、大阪国際高校をはじめ、各所で指導もしている。

大阪交響楽団 Osaka Symphony Orchestra

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ(<https://sym.jp>)